

「令和3年度北海道内4高専技術職員SD研修会」報告

報告者	鳴海 敏治	報告日時	令和4年3月11日（金）
実施場所	オンライン	実施日時	令和4年3月10日（木）
参加職員	6名（藤巻、木村、鳴海、寺島、蛭子、高橋）		

・報告

「令和3年度北海道内4高専技術職員SD研修会」が3月10日（木）に開催されこれを受講した。本研修会は新型コロナの影響により2年連続で中止となり、久々の開催となったが今回も感染拡大の観点から旭川高専からのオンラインで開催となった。

本校からは発表3名、聴講3名の参加で、各自別室からリモートでの接続となった（図1）。オンラインでの開催となり通常の研修会よりもコミュニケーション面での難しさはあったが、その一方参加しやすさや費用・時間の面でのメリットも大きいと感じた。

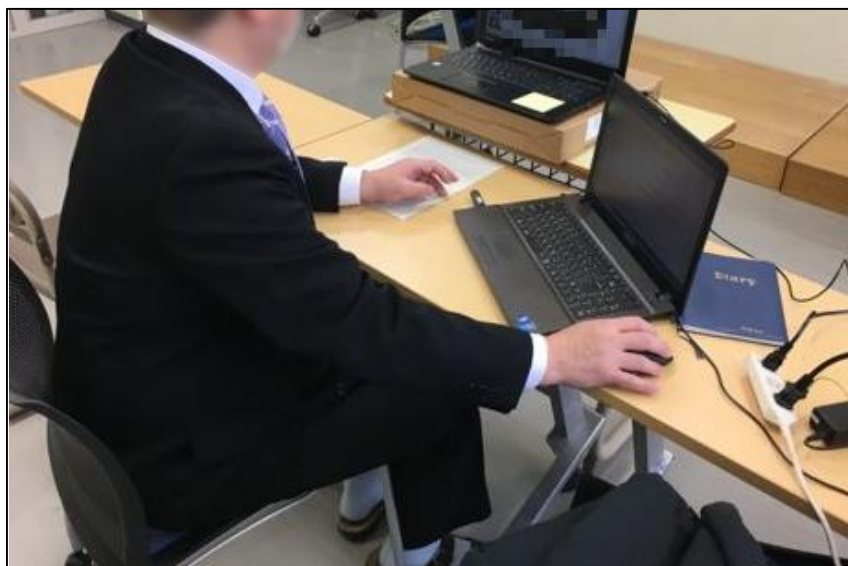


図1. 参加の様子

本研修は、北海道地区の4高専が連携し、各校で技術職員が直面している課題などを持ち寄り討議し具体策を取り入れることにより、より良い教育研究支援に繋げ、技術職員それぞれが各高専の実情を知り、連携を深めることで教育・研究の改善を図ることを目的としている。

研修会は次の内容で開催された。《 》内に本センター員による発表内容名を示す。

- ・技術職員活動報告（技術長および代理）
《函館工業高等専門学校技術教育支援センター活動報告(発表者：鳴海)》
- ・技術トピック（各校2名）
《公開講座「プログラミング体験！～ロボットカーを動かしてみよう～」の紹介(発表者：木村)》
《切削反力を見える化するバイスを用いた加工技術習得に関する研究(発表者：藤巻)》
- ・施設、設備紹介（旭川高専）
- ・協議題、承合事項

本研修で得られた情報や課題等を技術教育支援センターに還元し、今後の業務に活かしていければと思う。